

浦幌川柳会

課題吟「誤解」
 誤解まだ消えぬおんなの二枚舌
 舌足らず誤解まねいて愚痴ふえる
 時の砂誤解にせずむ蟻の群れ
 誤解いま晴れて大きく息を吸う
 誤解から小骨疼く女壺
 誰も皆長い人生誤解有り
 一言の誤解を解かず長い時
 ひび割れた誤解に春の水を盛る

竹村 鮮明
 星 愛子
 加藤 未貴
 橋本 葉子
 阿部 麗紅
 佐藤 長崇
 山村 幹雄
 白木 二十重

浦幌短歌会

人生に必らず迎える決算日
 今日の仕事も感謝で終る
 塩分を控へし食に慣れながら
 寒さの中をポトスが伸びる
 雪にうもれ暮すきさらぎひっそりと
 タぐればさぬ灯のにじみおり
 雪の夜を短く地震のすぎたるを
 みぢかかりしと語るもなくて
 何もかも思い出として友は逝き
 雪がとけたら遠くへゆこう
 半世紀十勝の漁場に舟持ちし
 夫の記憶をつづり終えたり
 地吹雪を久びさに見る十勝野よ
 心身の痛み飛ばしてゆけよ
 去りゆきし人らのその後を風にきく
 廃屋の窓の夕茜空
 返歌待たずあなたに会いにゆきたるを
 誰に問われるものでは無しと

米司 好美
 福澤 米子
 山崎 阿己
 山口 恵子
 星 愛子
 長谷川アキ
 後藤 年子
 亀田みや子
 藤井 桃子

ことぶき俳句会

花苗をわが子のように愛しめり
 ちよつと待てと夫が近づく猫柳
 春の日の部屋で満開君紫蘭
 青い空幸せそいな福寿草
 「只今」と一年無事に卒業す
 早春の野山をめぐる風の音
 春の雪汚れ隠して休刊日
 東山の句碑そちこちに落の臺
 一坪のハウスに蒔きしほうれん草
 夕東風のあたたか世界史腕のなか

大山さよ子
 越坂 順子
 下坂 しず
 徳地はつ子
 橋本 葉子
 羽柴 秋子
 福澤 米子
 福原 仁子
 宮部あさ子
 高橋 悦子

上浦幌句の会

言葉ない小さく成った伯父の背な
 起き抜けのボケの夫を支えつつ
 韓国のドラマに心も身も奪す
 年重ね世間の波に後れがち
 春は来ぬ三寒四温をくり返し
 ふきのとう春一番の花香る
 捨てきれぬ古布を手元でリサイクル
 ジーンズの穴から覗く膝小僧
 九十九髪タクトで五百のバラ咲かす

広瀬マサヨ
 笹島カヨ子
 経堂 ハナ
 河村みよ子
 山田 ナツ
 大西 功
 山田 エツ子
 福田すま子
 芳川 乙美

みんなの文芸

編集後記

財政面での優遇措置がある合併特例法の期限が過ぎました。わが国は、市町村合併や道州制など規模拡大路線を突っ走っていますが、規模の大きさは自治体の質の向上にはつながらないことは、阪市のおり。質が高いとは、「透明性と説明責任が徹底され、かつ、自己エック機能が正常に作動すること」だそうです。今月号で平成17年度の当初予算をお知らせしましたが、阪市の不正支出といっても、公金を支出する以上歳出予算のどこかに潜んでいます。また、決算の中にも紛れ込んでいます。誌面では全ての内容をお知らせすることはできません。ここ数年は、住民の皆さんに「痛み」を求めることが多くなっています。予算・決算に関心を持っていただき、町の行っている仕事をチェックしてください。年度途中で政策の変更などにより当初予算を変更する補正予算など、町はキチンと説明責任を果たしているのか。議会にも足を運んでいただき見てください。(やす)

掲載された写真は、差し上げますので(本人または家族)、お気軽にご連絡下さい。